

## 平成28年度決算に係る事務事業に対する提言

番号	事務事業名	所管常任委員会	今後の方向性	事務事業に対する提言
1	移住者等マッチングセミナー	総務文教	休止・廃止すべき	<p>移住者を呼び込む施策の実施自体には妥当性があるが、集客数が目標を大きく下回っており、費用対効果から見ると廃止が望ましい。他の地域と連携し移住相談を行うイベントに共に参加したり、アンテナショップ「NEKI」で民間企業による合同就職説明会を開催したりするなど、別の方策を考えられたい。</p>
2	ふるさと納税事業	総務文教	一部見直しのうえ継続すべき	<p>府中の産業を広く知ってもらうという観点から、返礼品の種類を拡充するとともに、返礼品送付の機会を活用し寄附者へ府中市について積極的にPRすべきである。</p> <p>また、返礼品競争が過熱する中、寄附の幅を広げるために、備後国府整備等の具体的事業に対する寄附を受け付けるような制度を設計されたい。</p>
3	遠距離通学事業	総務文教	現状のまま継続すべき	<p>児童生徒の通学手段の確保が目的であり、継続しなければならない事業である。乗車人数が減少していくことを見据え、バスの大きさの適正化や路線の変更、登校時は小中同乗にするなど、保護者の理解を得ながら柔軟な運行形態を検討することで長期的に対応できるよう取り組まされたい。</p> <p>また、休日のクラブ活動のための運行についても工夫されたい。</p>

## 平成28年度決算に係る事務事業に対する提言

番号	事務事業名	所管常任 委員会	今後の方向性	事務事業に対する提言
4	奨学金貸付事業	総務文教	抜本的（事務事業の統廃合等）な見直しのうえ継続	<p>返還金の滞納対策が喫緊の課題であり、連帯保証人への請求を徹底する必要がある。また、将来の市の財政に与える影響を鑑み、一般財源から貸し付けるのではなく、基金をつくりその中で運用するなどきちんと出し入れが管理できるような制度への転換を検討されたい。</p> <p>新たな滞納を生まないためにも、奨学生との面談については引き続き取り組まれない。</p>
5	A L T 招致事業	総務文教	一部見直しのうえ継続すべき	<p>コミュニケーションに重点を置き、市内4学園が同じようにレベルアップできるように事業を活用されたい。A L T の活動を補完するような地域人材の活用も検討されたい。</p> <p>また、グローバルキャンプや国際交流活動等の語学指導以外の業務への対応について、丁寧な説明を行ったうえでどのA L T も同じレベルの意識の下取り組めるように指導されたい。</p>
6	少子化対策事業	厚生	抜本的（事務事業の統廃合等）な見直しのうえ継続	<p>出産応援金については、少子化対策事業から子育て支援事業として活用すべきであると考え。少子化の要因を精査し、事業効果が確認できる本来の方法で取り組みを講じられたい。</p> <p>婚活事業について、効果の上がる取り組みをさらに強化するため、民間に任せるよう検討されたい。</p>
7	病児保育事業	厚生	一部見直しのうえ継続すべき	<p>子育て支援としてニーズが高い事業であるが、年間利用者数が少ない原因として、P R 不足が考えられる。</p> <p>このことから制度の周知徹底に取り組み、利用しやすい環境整備に努められたい。</p>

## 平成28年度決算に係る事務事業に対する提言

番号	事務事業名	所管常任委員会	今後の方向性	事務事業に対する提言
8	障がい児通所給付事業	厚生	一部見直しのうえ 継続すべき	<p>保護者ニーズについては、施設の拡充等で、ある程度満たされてきたと思われるものの、サービスの利用状況にばらつきがある。</p> <p>医療型児童発達支援の利用のしやすさや、ショートステイの可能な環境づくりなどに努められたい。</p> <p>また、サービスの質の維持向上のため、事業所職員の研修などにより、事業所職員のスキルアップに努められたい。</p>
9	健康福祉まつり事業	厚生	一部見直しのうえ 継続すべき	<p>来場者について、高齢者主体で若年者の参加が少ないことが常態化している原因として、企画のマンネリ化が考えられる。</p> <p>このことから、幅広い世代が興味を持ち、特に若年者の来場を促す新たな企画に取り組まれたい。</p>
10	地域包括支援センター事業	厚生	一部見直しのうえ 継続すべき	<p>重要事業であるが、人材不足は明らかであることから、人材確保・育成のための仕組みづくりに早急に取り組まれたい。</p> <p>高齢化が急速に進展する中、アウトリーチ型に重点を置き、併せて地域づくりが急務であり、そのための人材確保や地域づくりの施策の強化に努められたい。</p> <p>地域包括ケアシステムづくりのために、全庁的な取り組みが可能となる組織体制の構築を図られたい。</p>
11	府中市中小企業設備投資促進補助金事業	建設	一部見直しのうえ 継続すべき	<p>商工会議所・商工会の要望を把握し、中小企業者が使いやすい内容となるよう制度を充実すること。また、予算の拡充（必要に応じて年度途中の追加補正等）を行うとともに、ものづくり産業のイノベーションを達成するために制度の周知を積極的に行われたい。</p>

## 平成28年度決算に係る事務事業に対する提言

番号	事務事業名	所管常任 委員会	今後の方向性	事務事業に対する提言
12	起業支援補助金事業	建設	一部見直しのうえ 継続すべき	<p>商工会議所など経済団体との連携を強化し、起業意思の調査を行い、新規事業者を発掘するとともに、空き店舗等の利用促進につながる工夫と利用者拡大を図られたい。また、制度を利用してもらうためのサポート体制を充実し、情報発信を積極的に行われたい。</p> <p>あわせて予算の拡充（必要に応じて年度途中の追加補正等）も行われたい。</p>
13	橋梁補修事業 [社会資本整備]	建設	現状のまま継続す べき	<p>橋梁は老朽化したものが多いので、優先順位を的確に判断し、補修工事を行うとともに、緊急時にも対応できる体制を整え、住民の安全安心への事業を継続して取り組まれたい。</p>
14	目崎出口線道路改良 事業	建設	一部見直しのうえ 継続すべき	<p>要望する交付金の確保のため、この事業の重要性を周知するなどの施策を講じ、計画どおりの事業実施に努められたい。</p>
15	水道事業老朽管更新 事業	建設	一部見直しのうえ 継続すべき	<p>計画的に老朽管を更新するため、優先順位による計画的な整備に努め、漏水調査業務の年間委託化等により対応の迅速化を図られたい。また、すべての老朽管の更新にはかなりの期間を要することから、包括的民間委託等も含めた検討を始められたい。</p>